

莢がはじけにくい大豆新品種で増収をはかる

難裂莢性大豆新品種「ことゆたかA1号」を奨励品種候補として選定

オススメする方 「ことゆたか」を栽培している農家、集落営農

成果の内容・特徴

- ①「ことゆたかA1号」は、「ことゆたか」と比べて莢がはじけにくく、成熟期50日後でもほとんど脱粒しません(図 写真)。
- ②このことから、コンバイン収穫作業時の収穫ロスは少なくなり、収量が多く確保できます。
- ③成熟期は「ことゆたか」より3日程度遅くなりますが、その他の特性はほぼ同等で、栽培方法も「ことゆたか」と同じです。

図、写真

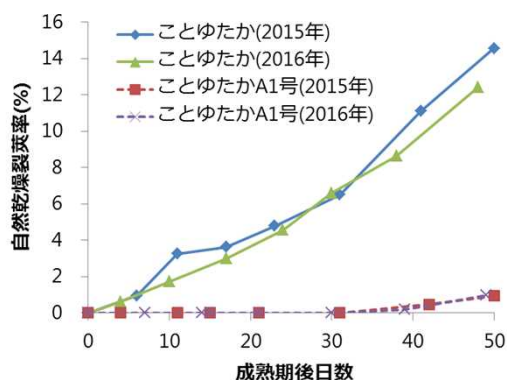


図 成熟期後の裂莢率の推移
「ことゆたかA1号」は、成熟期を過ぎてほ場に放置しても、裂莢しません。



写真 左:「ことゆたか」 右:「ことゆたかA1号」
「ことゆたか」は、裂莢し脱粒(赤丸部分)しますが、「ことゆたかA1号」では、裂莢が見られません。

＜お問い合わせ先＞ 滋賀県農業技術振興センター

栽培研究部 作物・原種係 電話:0748-46-3082 E-MAIL:gc57300@pref.shiga.lg.jp

＜詳細な技術情報＞

農業技術振興センター主要研究成果 http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo/k_seika/index.html